

団体名	
コース名	医療通訳〇〇コース

- ・今回実施する医療通訳養成のための研修・講座のプログラムの内容を簡潔に記載してください。
- ・今回実施するコース別に1部ずつ作成してください。(言語別に受講料等の設定が異なる場合は言語別にも作成してください。)
- ・記載しきれない場合はシートを追加して作成してください。
- ※受講料の内訳について、様式C-2「事業に係る費用積算」との整合性を図ることとします。

## 1. 対象言語

(1)	1	言語	選択の理由	
	2			
	3			
	4			
	5			
(2)	備考	※上記の言語等について補足事項があれば記載ください。		

※カリキュラムの詳細は別紙1に記載  
 2. カリキュラム ※授業計画(シラバス)を別途添付すること。  
 (シラバスには開講日時、授業科目・授業内容・担当講師等を記載すること)

(1)	カリキュラムの内容 厚生労働省「医療通訳育成カリキュラム」をベースとしているか		研修時間 ※通訳実務実習は除く		H					
(2)	通訳実務実習はプログラムに含まれているか ※実習の実施自体は必須ではありません。		通訳実務実習時間		H					
(3)	受講生募集期間(予定)	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
	研修・講座の実施期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日

## 3. 受講条件

(1)	一定レベル以上の語学能力を有しているかを判断するための 受講テストを実施している		方法	
(2)	条件の設定			
(3)	受講応募者に対し、修了後の職業志向の確認(受講動機の確認等)をしているか。			
	内容			

## 4. 募集人数(養成目標人数)

(1)	名	内訳	
-----	---	----	--

5. 実施方法			
(1)	実施方法 講義方式は通学を基本 映像による遠隔講義(双方向コミュニケーション が可能なもの)を部分的に取り入れることも可	・映像による遠隔講義(双方向コミュニケーション)を実施している。	○
(2)	映像による遠隔講義を採用する授業科目	・医療通訳の基礎知識	
(3)	映像による遠隔講義を採用する理由	基本的には通学制としているが、受講できなかった場合の補講として、映像による遠隔講義を○回まで受講できるようにしている。	

6. 受講料						
費用項目		補助金利用前		補助金利用後	減額	減額率
受講料 ①～⑦の合計		0 円	構成比	0 円	0 円	0.0%
受講料内訳 (1人当たりの費用)	①講座運営に係る必要最低経費 (人件費・賃金・報償費・需用費・役務費・委託費等)	円	0.0%	円	0 円	0.0%
	②必須の教材費	円	0.0%	円		
	③現場実習にかかる経費等 (人件費・報償費・委託費等)	円	0.0%	円	0 円	0.0%
	④施設使用料・貸借料(会場費等)	円	0.0%	円	0 円	0.0%
	⑤販売活動(PR)に関する経費 (人件費・賃金・需用費等)	円	0.0%	円	0 円	0.0%
	⑥その他の必須経費	円	0.0%	円		
	⑦見込まれる利益	円	0.0%	円		
受講料減額の合計 × 募集人数					0 円	
その他 減額以外の特典等があれば記載してください。						

7. 主な実施場所					
※日本国内・国外問いませんが、会場および教室の学習環境が整っている会場(教室)であること。 ※国外で実施する場合、研修内容が日本国内で医療通訳に従事することを目的とすること。					
(1)	実施場所	住所	東京都千代田区〇〇-〇	ビル名	猿楽町ビル 〇階
(2)	主な会場名	日本医療教育財団 会議室			
(3)	実施場所の選択理由	利便性がよく、受講者の需要が見込めるため。			

8. 講師 ※講師一覧の詳細は別紙2に記載	
(1)	別紙2の講師一覧の添付がある。

9. 使用教材 ※使用教材一覧の詳細は別紙3に記載 ※書名、発行元等が明確であること。	
(1)	別紙3の使用教材一覧の添付がある。

10. 受講生サポート体制 (研修・講座において受講生をサポートする体制を整えていることが望ましい)			
(1)	学習サポート体制がある		内容
(2)	補講体制がある		内容
(3)	その他のサポート体制		内容

11. 修了条件		
(1)	『育成カリキュラム』の修了条件に準拠している	<b>【修了条件】</b> ・研修への8割以上の履修 (ビデオ等での補講も可、但し通訳に必要な通訳技術・通訳実技はビデオ補講不可) ・研修記録の提出(母語での記載も可能) ・研修中に作成した用語集の提出(対象言語と母語の併記) ・レポートの提出(研修時に取り上げた事項に関する情報収集と用語集の作成) ・修了認定試験(筆記試験・模擬通訳試験)において評価基準を一定以上満たしている (7割程度)と評価されること
(2)	研修・講座で学んだ内容の達成度を評価するための能力試験(修了試験)等を修了前に実施している	
(3)	その他の条件	( )

12. その他 ※プログラム内容についてアピールしたい特長などがあれば(3)その他欄に記入してください。		
(1)	研修・講座修了後に目標とする資格試験がある	
	目標とする資格試験名を記載してください	試験名
(2)	修了後の就業に関する相談等のサポート体制を有しているか	
	内容	
(3)	その他	